

芦屋室内合奏団

第23回定期演奏会



'88. 9 . 15 (祝) 午後2時開演
松蔭女子学院大学チャペル
(阪急六甲北12分)

入場料 500円

今日の演奏曲目について

◆ マンハイム・シンフォニア 第1番 ト長調 J. シュターミッツ

今世紀初め、フーゴ・リーマンによって、18世紀半ばのマンハイム宮廷楽団を中心とする多数の作品が発見された。そこでは、ハイドン以後と考えられていた交響曲の形式をはじめ、ソナタ形式などウィーン古典派の形式がすでに完成されていて、10数小節の上昇するクレッシェンド（マンハイムのクレッシェンド）や、強い強弱の対比、独特の隣接音に下降する「マンハイムのため息」など、個性的な世界が展開されていたのである。

その中核がシュターミッツである。ボヘミア生まれで、当初は郷里でオルガニストやヴァイオリニストとして活躍し、34歳でマンハイムに招かれヴァイオリニスト、楽長となった。以後、パリでの長期公演を含め、ずっとマンハイムの宮廷音楽活動につき、40年の生涯ながらその功績はマンハイム学派の後継者に受け継がれ音楽史に優れた業績を残した。作品は、ジャンル、数ともに膨大だが、この曲は74曲のシンフォニアのひとつである。作曲年代や順序的な位置は定かではない。

◆ 歌劇「ドン・ジュアン」より C. W. グルック

ウィーンの市中央墓地の一角の名誉市民区画に、モーツァルトの像を中心にしてベートーヴェンとシューベルトの墓がならんでいる図はよくみかけるが、その間の通路のつき当たり正面がグルックの墓地である。そのまま音楽史のようなこの墓地の、最も重要な中心に彼の墓があること、それがグルックの評価である。

オーベルブファルツの生まれながら、20歳過ぎてウィーンに辿りついて以後、ミラノのサンマルティーニのもとに「留学」、ロンドンで成功、ウィーンの宮廷楽長となり、弟子のマリー・アントワネットの厚意でパリ暮らし、とまことにうらやましい境遇が続いた。その間、それぞれの地で受けた影響を生かして、オペラ改革者としての名を不滅のものにした。「オルフェウス」や「アウリスのイフゲニア」「アルチェステ」などの名作を数多く残しているが、同時にそれらから名曲を集めて「組曲」ものこしている。今回はそのなかから「ドン・ジュアン」の3曲を取り上げる。

「全ての芸術における美の根本は、単純で簡潔であること、真実で自然であることである」（「アルチェステ」の序文）……さて、今日は？

◆ 弦楽のためのソナタ 第5番 T. アルビノーニ

Tomaso Arbinoni (1671~1750) トンマーズでは失礼な気もするがそう発音するのが正しいという) もまためぐまれた境遇の人で、富裕な紙商人の息子として生まれ、最初の出版楽譜には「ディレッタント」で、音楽家でないことを強調していたから、音楽家として立ったのは遅かったと考えられている。ヴェネチアでは重要な地位にあり、また生涯ヴェネチアで過ごしたと言われるが、その人生は不明部分が多く、「アルビノーニ」と言われて「アダージョ」しか思い出せない人も恥じることはない。作品にはオペラと器楽曲が多く、大バッハもその主題を時に使用したという。「アダージョ」のあまりの有名さに比べ、今日演奏される機会は少ないが、オーボエを中心とする協奏曲が比較的名曲である。

◆ 2台のヴァイオリンのための協奏曲 ニ短調 J. S. バッハ

大バッハについては今さら解説は要るまいが、2曲のヴァイオリン協奏曲、ヴァイオリンとオーボエのための協奏曲、そしてこの「2台のヴァイオリンのための協奏曲」の4曲のヴァイオリン協奏曲がある。この「2台」は古今の名曲中でも名曲のひとつで、ケーテン時代の1720年ごろの作であるが、対位法の粋をこらした2台のヴァイオリンのからみあう2重奏を、チェンバロを加えた弦楽合奏が巧みな和声法で引き立たせる、巧妙な作りになっている。

1楽章は円熟した対位法の魅力にあふれるビバーチェ、2楽章は対話をほうふつとさせるラルゴ、3楽章は軽快に2重奏と合奏が呼応するアレグロで、演奏時間20分。

◆ 合奏協奏曲 op. 5 No. 12 「ラ・フォリア」 F. ジェミニアーニ

ジェミニアーニ (1687~1762) はコレリやスカラッティの弟子で、ロンドン移住 (1714) 以後の、作曲家、ヴァイオリニスト、音楽理論や演奏論の理論家としての活躍が歴史的に有名である。この合奏協奏曲「ラ・フォリア」は、師コレリの同名の著明なヴァイオリン・ソナタの編曲である。ラ・フォリアとは本来16世紀初めにスペインで流行した「フォリア」という舞曲に起源をもつが、多くの作曲家がその特徴を生かしパッサカリア風の変奏曲を作曲している。コレリもまたこの主題型を持続させながら変奏を加えて発展させる形式をとっており、ジェミニアーニはさらに、2声のヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、通奏低音の合奏に編曲して変化豊かな合奏協奏曲とした。

◆◆◆◆◆ 芦屋室内合奏団定期演奏会の歩み ◆◆◆◆◆

第2回 1967年1月 芦屋市民会館

バッハ……………バイオリン協奏曲 No. 2
 ビバルディ……四季より「秋」
 レスビーギ……リュートのための古代舞曲とアリア
 バーバー……………弦楽のためのアダージョ

指揮 中島良能
 バイオリン 鈴江苑生

第3回 1967年7月 芦屋市民会館

ビバルディ……合奏協奏曲 OP. 3-11
 バッハ……………ピアノ協奏曲 No. 1
 チャイコフスキー・弦楽のためのセレナード

指揮 中島良能

第4回 1968年2月 芦屋市民会館

コレリ……………サラバンド ジーグ バディヌリ
 バッハ……………オーボエとバイオリンのための協奏曲
 モーツアルト…オーボエ四重奏曲 K. 370
 プリテン……………シンブル・シンフォニー

指揮 宮本政雄

第5回 1968年11月 芦屋市民会館

ビバルディ……四季より「冬」
 ボッケリーニ…チェロ協奏曲
 モーツアルト…ディベルティメント K. 138

指揮 中島良能

第6回 1969年9月 芦屋市民会館

パーセル……………組曲「アプデラザール」
 パーセル……………トランペットと弦楽のためのソナタ
 テレマン……………3つのバイオリン弦楽と通奏低音のための協奏曲

指揮 延原武春

第7回 1971年11月 夙川公民館

ヘンデル……………合奏協奏曲 OP. 6-2
 ビバルディ……合奏協奏曲 OP. 3-12
 ドボルザーク…弦楽のためのセレナーデ

指揮 奥田伸吾

第8回 1972年11月 芦屋カトリック教会

ビバルディ……調和の靈感 OP. 3-10
 ビバルディ……調和の靈感 OP. 3-3
 バッハ……………ブランデンブルグ協奏曲 No. 3
 モーツアルト…戴冠ミサ曲

指揮 M. H. Shoemaker

第9回 1973年12月 芦屋市民会館

コレリ……………合奏協奏曲 OP. 6-1
 グリーク……………ホルベルグ組曲
 スーク……………弦楽のためのセレナード OP. 6

指揮 M. H. Shoemaker

第10回 1974年5月 芦屋仏教会館

コレリ……………合奏協奏曲 OP. 6-7
 バッハ……………2つのバイオリンのための協奏曲
 ヘンデル……………合奏協奏曲 OP. 6-5.9

指揮 M. H. Shoemaker

第11回 1975年5月 芦屋仏教会館

パーセル……………組曲「アプデラザール」
 モーツアルト…ディベルティメント K. 136, K. 138
 ビバルディ……四季より「春・夏」
 ヘンデル……………合奏協奏曲 OP. 6-6

指揮 酒井睦雄
 バイオリン 曾我部千恵子

第12回 1977年6月 芦屋仏教会館

ビバルディ……四季より「秋・冬」
 テレマン……………組曲 イ短調
 レスビーギ……リュートのための古代舞曲とアリア
 バッハ……………組曲 第2番

指揮 酒井睦雄
 フルート 白井美和子

第13回 1978年12月 芦屋仏教会館

コレリ……………合奏協奏曲 OP. 6-1
ヘンデル……………合奏協奏曲 OP. 6-1
モーツアルト…アダージョとフーガ K. 546
グリーク……………ホルベルグ組曲

指揮 酒井 睦 雄

第14回 1979年11月 芦屋仏教会館

ヘンデル……………合奏協奏曲 OP. 6-3
エルガー……………弦楽のためのセレナーデ OP. 20
ドボルザーク…弦楽のためのセレナーデ OP. 22

指揮 酒井 睦 雄

第15回 1980年11月 芦屋仏教会館

モーツアルト…ディベルティメント K.136
ホルスト……………弦楽のための組曲「セントポール」
ボッケリーニ…チェロ協奏曲
モーツアルト…セレナータ・ノットェルナ K. 239

指揮 酒井 睦 雄

チェロ 斉藤 遥 男

第16回 1981年11月 芦屋仏教会館

ビバルディ……………合奏協奏曲 OP. 3-11
ヘンデル……………合奏協奏曲 OP. 6-5
バッハ……………プレリュード 口短調
コレリ……………合奏協奏曲 OP. 6-6
バルトーク……………ジーベンブルゲンの踊り

指揮 酒井 睦 雄

第17回 1982年11月 松蔭女子学院大学チャペル

モーツアルト…喜遊曲 K.136
モーツアルト…クラリネット五重奏曲 K. 581
モーツアルト…喜遊曲 K. 334

クラリネット/指揮 酒井 睦 雄

第18回 1984年11月 松蔭女子学院大学チャペル

テレマン……………組曲「リラ」
ハイドン……………自動オルガンのための3つの小品
ハイドン……………オルガン協奏曲 第2番
ベールマン…クラリネットと弦楽五重奏のためのアダージョ
ニールセン…小組曲 OP. 1
レスピーギ…リュートのための古代舞曲とアリア 第3組曲
クラリネット/指揮 酒井 睦 雄
オルガン 鈴木 雅 明

第19回 1985年9月 松蔭女子学院大学チャペル

バッハ……………ブランデンブルグ協奏曲 No. 3
モーツアルト…クラリネット五重奏曲
モーツアルト…交響曲 第29番
モーツアルト…ディベルティメント K.136

クラリネット/指揮 酒井 睦 雄

第20回 1986年11月 松蔭女子学院大学チャペル

モーツアルト…ディベルティメント K.137
ヘンデル……………合奏協奏曲 OP. 6-6
スーク……………弦楽のためのセレナード OP. 6

指揮 酒井 睦 雄

第21回 1987年6月 風月堂ホール

アルピノーニ…シンフォニア No. 3
テレマン……………組曲 No. 1
バガニーニ…弦楽合奏のためのロンド
バーバー……………弦楽のためのアダージョ
ヤナーチェク…弦楽合奏のための組曲

指揮 酒井 睦 雄

第22回 1987年11月 ラポルテホール

バッハ……………管弦楽組曲第3番より
モーツアルト…アイネ・クライネ・ナハトムジーク
ポロディン…ノクターン
シュトラウス…トリッチ・トラッチ・ポルカほか
レハール……………ワルツ「金と銀」

指揮 酒井 睦 雄